



2014年度 第3四半期 決算のご説明

(2014年4月1日～2014年12月31日)

2015年1月29日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

HTK 本多通信工業



1-1.14/3Qの業績

2桁増収と円安により経常利益1.5倍
通期計画を精査中

単位:百万円

	13年度3Q (利益率)	14年度3Q (利益率)	前年比	※通期計画 10/30修正	進捗率
売上高	10,941	12,264	112%	15,800	78%
営業利益	714 (6.5%)	1,011 (8.2%)	142%	1,200 (7.6%)	84%
経常利益	783 (7.2%)	1,170 (9.5%)	149%	1,200 (7.6%)	98%
当期純利益	637 (5.8%)	1,020 (8.3%)	160%	1,000 (6.3%)	102%

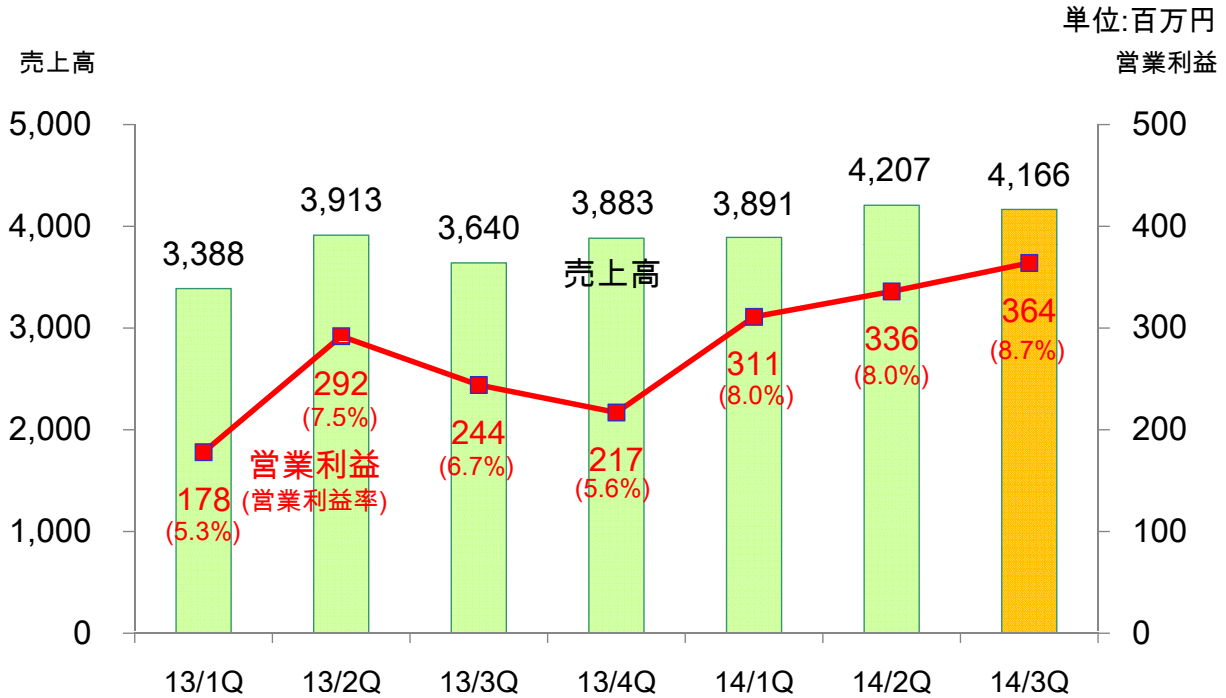
12月末日での為替レート(1\$=121円)により140百万円の営業外収益(為替差益)が発生したことを含め、現在、通期業績予想を精査中です。
修正が必要となった場合は、速やかに開示する予定です。

HTK 本多通信工業



1-2. 四半期業績推移

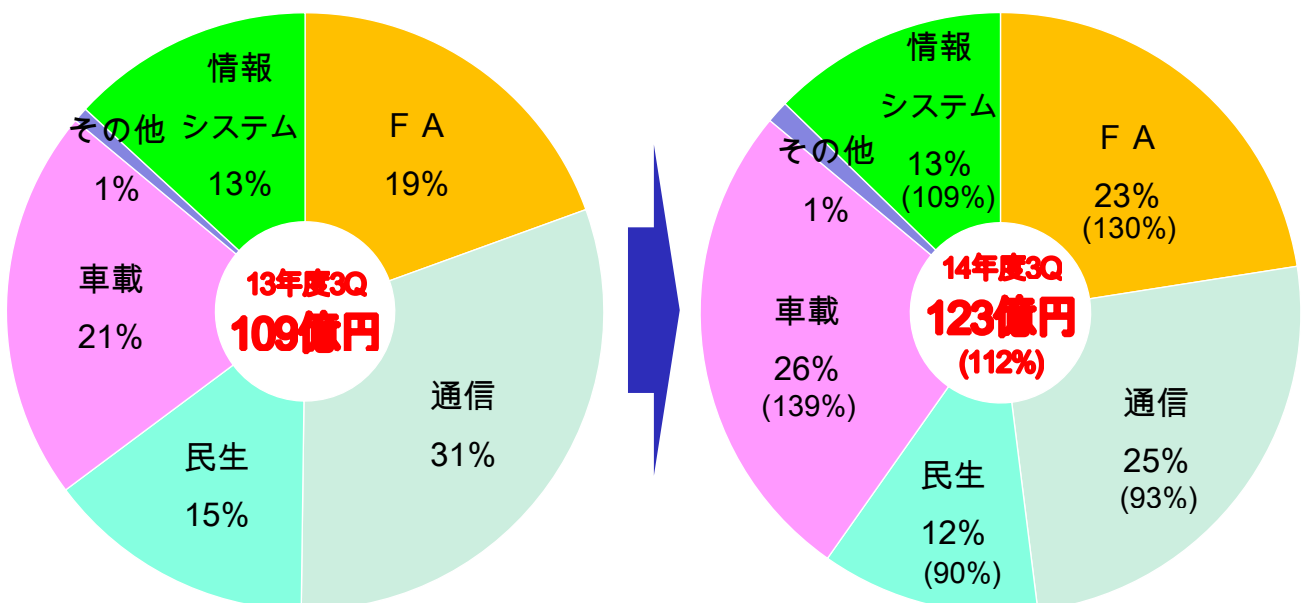
四半期:売上 \geq 40億円、営業利益率 \geq 8%を継続
2Q比:円安効果(1\$=104 \rightarrow 115円)で増益



1-3. 分野別売上構成と前年比

車載・FA分野が2桁伸長、情報システムも堅調

カッコ内=前年比

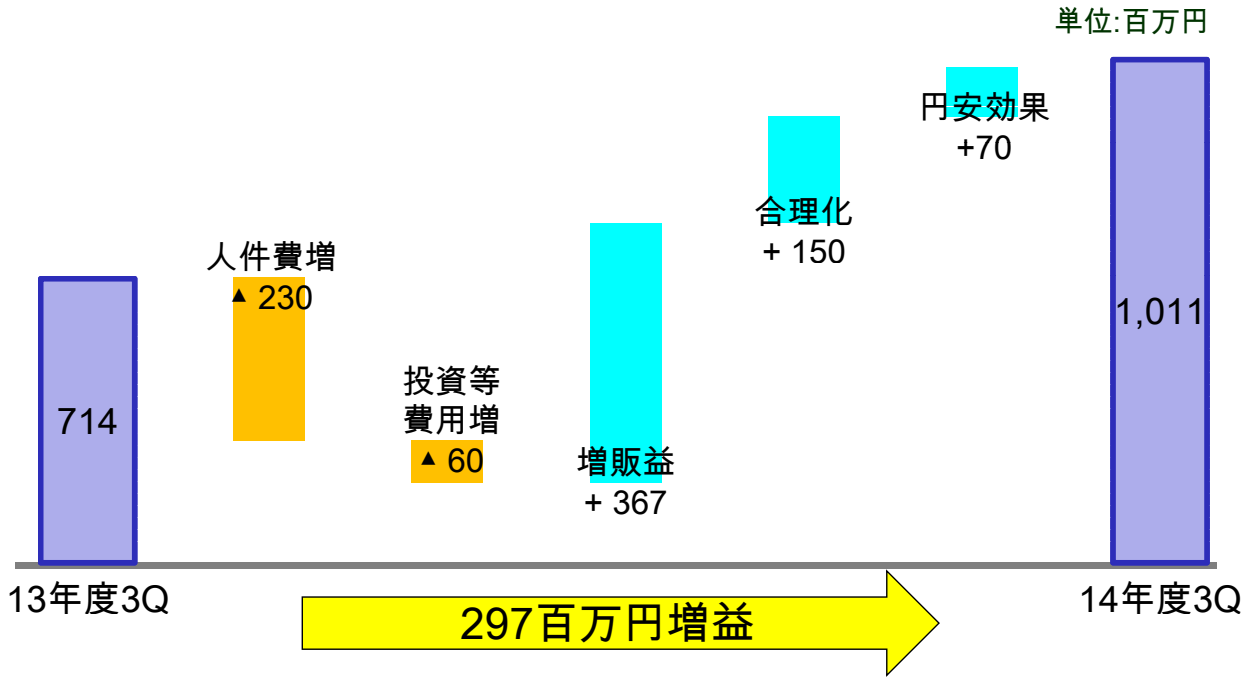


※2014年4月より基準を見直しました



1-4. 営業利益 前年比較

戦略投資による固定費増を増販で吸収、合理化/円安で増益

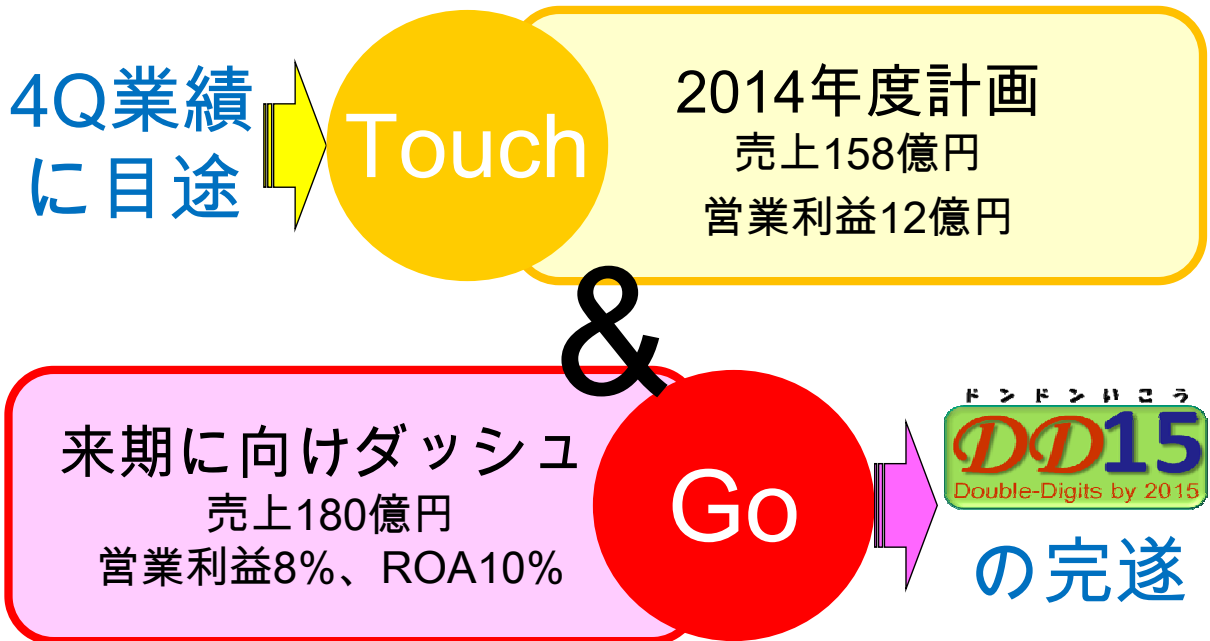


※為替 13/3Q : 1\$ = 99.39円、14/3Q : 1\$ = 106.87円



2-1. Touch & Go for DD15

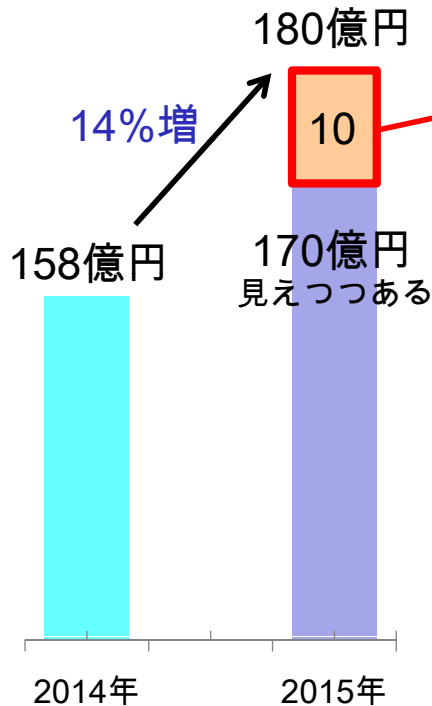
14年度業績の確保に目途、中計最終年度に向けスタート





2-2.DD15の完遂に向けて

中期経営計画“DD15”の完遂に向け、チャンスを活かす



旬市場での増販を仕掛ける

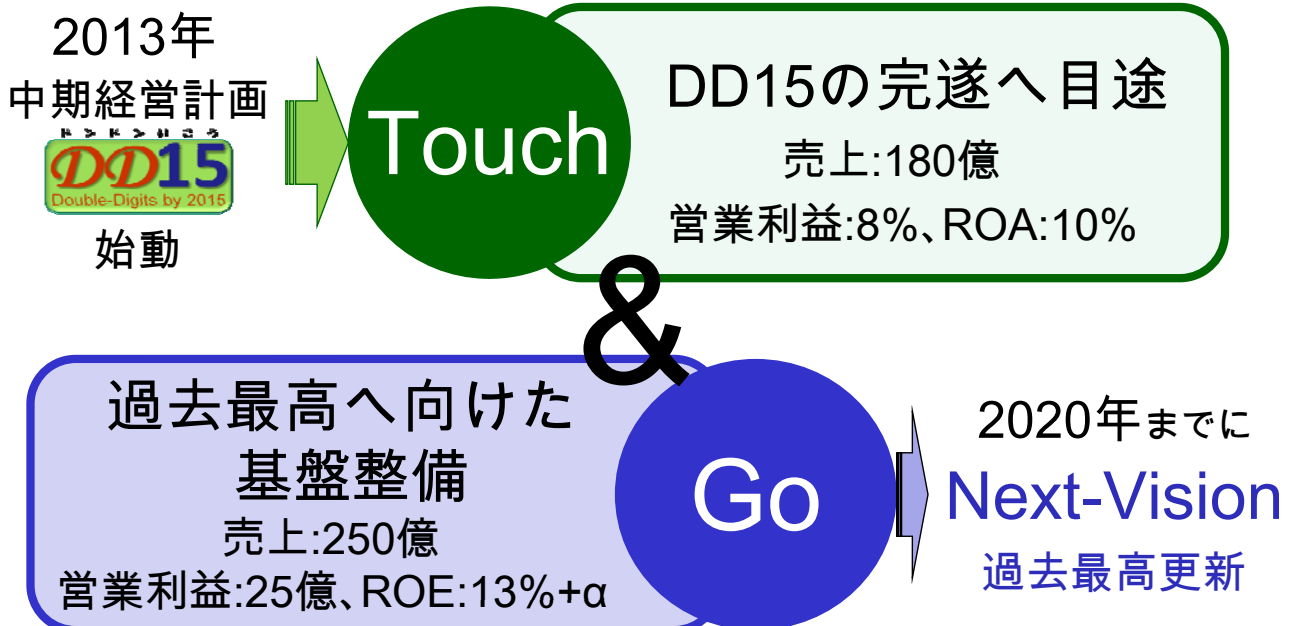
【旬市場の例】

- 4K時代の到来
 - ⇒・UHS-II対応SDカードソケット
- 東アジアでの需要拡大
 - ⇒・車載ロック付きUSBコネクタ
 - ・監視カメラ向け細線同軸コネクタ
- 光回線の卸売開始
 - ⇒・アクセス系向け光コネクタ
- インダストリ4.0 & IoT
 - ⇒・大量データ処理 仮想化&M2M



2-3.Touch & Go for Next-Vision

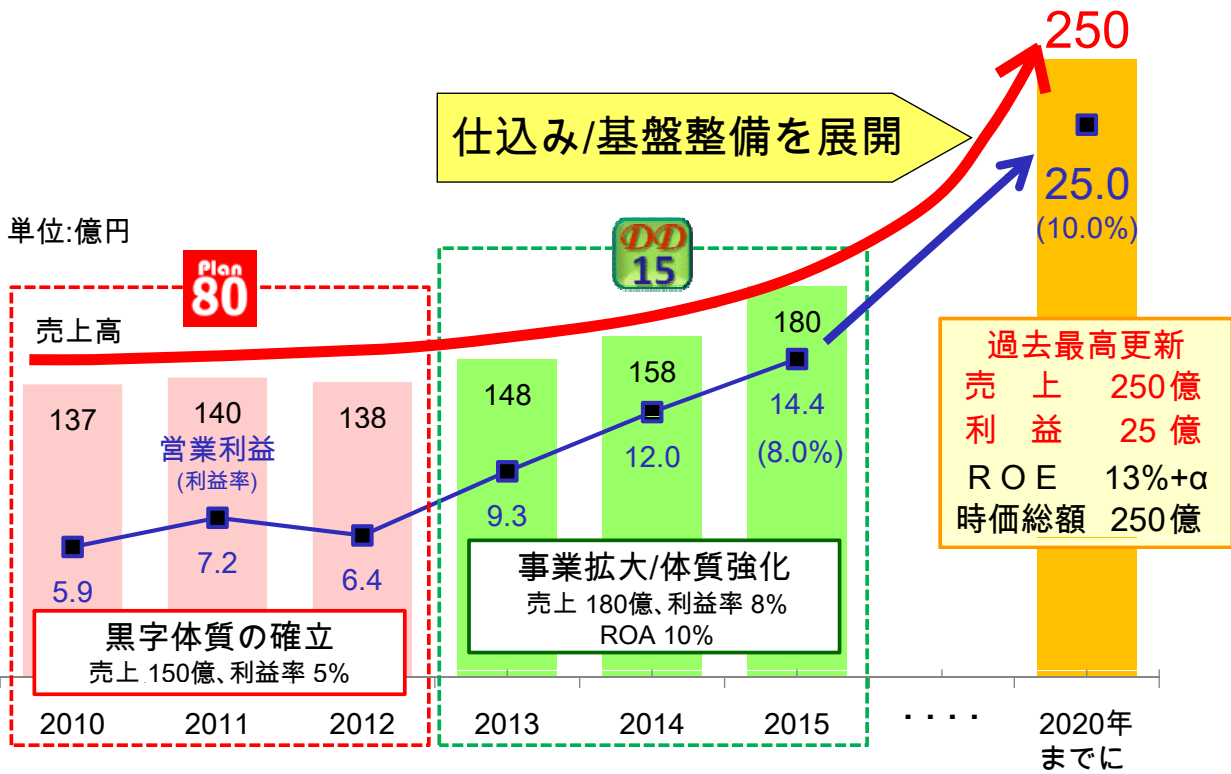
過去最高業績を狙うNext-Visionへ“Touch & Go”





2-4.Next-Visionの概要

2020年までに過去最高更新を狙う



2-5.Next-Visionに向けて

2020年までの過去最高更新を狙い
基盤整備を強力に推進

技術基盤



高速POFの
技術確立

⇒ 8K時代での市場創造

パワー系評価技術の
拡充

⇒ 交通/鉄道系へ参入

製造基盤

製造力の拡充

⇒ 車載コネクタ China + 1

多品種少量生産の確立

⇒ コンビニ3兄弟の
総仕上げ



人材組織 基盤

全社GC運動



⇒ シゴトの仕方総点検で
生産性向上

人財育成

⇒ プロパーとキャリアの
コラボレーション/切磋琢磨

DD
15

3.トピックス

おめでとう!! 松本山雅FC

1部昇格決定

2014.11.1



MATSUMOTO
Yamaga F.C.



HTK 本多通信工業

DD
15

ご参考.投資等の状況

ものづくり補助金も活用し、戦略投資を推進

単位:百万円

	13年度3Q	14年度3Q	前年比
売上高	10,941	12,264	112%

下段(対売上比率)

研究開発費	498 (4.6%)	558 (4.5%)	112%
設備投資	185 (1.7%)	362 (3.0%)	196%
減価償却費	213 (1.9%)	230 (1.9%)	108%
海外販売	4,002 (36.6%)	4,828 (39.4%)	121%

HTK 本多通信工業